

敦賀市立角鹿小中学校



外観

公立では、県内初となる施設一体型小中一貫校。敦賀市の広大な海をイメージし、ルーバーや庇で水平を強調した外観。中央のガラス張りに設置された時計外枠には、市の鳥「ゆりかもめ」がデザインされている。

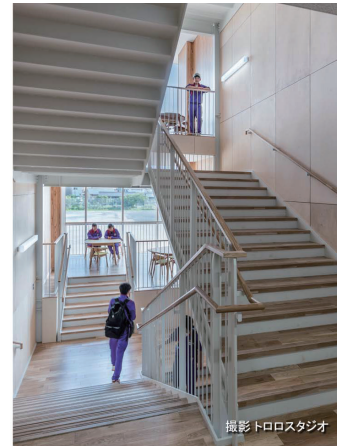


天筒メディアセンター

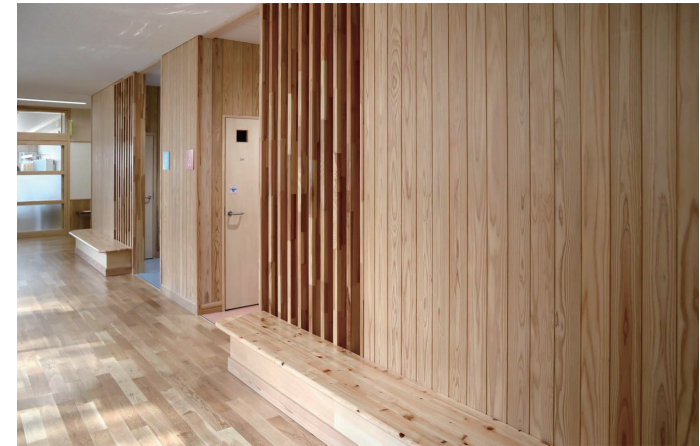
図書とパソコンを活用した総合学習の場「天筒メディアセンター」は、動線の要となる1F中央に配置。小中一体化により、児童・生徒の日常的な交流や、小中相互の図書利用ができるメリットを活かしている。



交流／共有ゾーン



小・中学校間を超えた交流、異なる学年間の交流を促進する、交流／共有の場として、中庭やホールが校内の要所に設けられている。



2F低学年 トイレ入口

入口を縦格子状にすることで、開放感のある空間を演出。トイレ前にはベンチを設け、体調不良時の休憩や荷物置き場として活用している。



2F低学年 男子トイレ

テーマは、敦賀市の風物である「灯籠流しと大花火大会」。上部は花火大会の様子をモザイクタイルで、下部は灯籠のイメージをカラフルなタイルで表現。各トイレに1ヶ所広さのある大便器ブースを設置している。



2F低学年 女子トイレ

大便器は、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。さまざまな利用者を想定し、手すりを設置している。



2F中学年 トイレ入口

2Fトイレの前にはR曲面の手洗いコーナーとコミュニケーションスペースとして円形のベンチを設置している。



2F中学年 男子トイレ

テーマは「敦賀港」。壮大な海の青さを100角タイルのグラデーションで表現。さらに、凹凸のあるタイルを組み合わせ、自然光が当たること、海の水面の揺らぎが表現される。



3F高学年 男子トイレ

テーマは「敦賀赤レンガ倉庫」。上部は倉庫のイギリス積みレンガを、腰壁部の十字ラインは実際の建物の入口広場をイメージ。また、入口にフロストガラスを設置し、明るさを取り入れつつ視線をカットしている。



3F高学年 女子トイレ

高学年と低学年の洗面コーナーは、大便器コーナーに鏡のないアイランドタイプと、入口付近に通常の洗面コーナーを設け、トイレ内に入らなくても手洗いができるよう配慮されている。



3F中学校 男子トイレ



テーマは、日本三大松原として著名な「気比の松原」。敦賀の地を古くから見守ってきた松をイメージした深い緑のタイルをベースに、砂浜をイメージした土壁であたたかく、落ち着いた印象に上げている。



3F中学校 女子トイレ

上部の壁は、気比の松原の砂と合併された各小学校の土を見童たちが集め、先生と関係者が施工。洗面器や鏡を個別タイプにすることで、プライバシーに配慮している。

敦賀市立角鹿小中学校



1・2F特別教室
みんなのトイレ

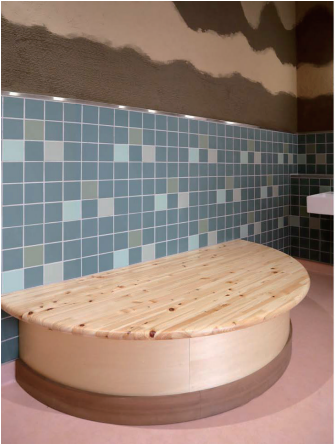


1・2Fの特別教室横には男女トイレとは別に、車いす使用者も入ることができる「みんなのトイレ」を設置。移動教室利用時やほかのトイレが混んでいる時などにも利用することができる。



1・2F特別教室
女子トイレ

テーマは「氣比神宮」。タイルは神宮の石畳や砂利をイメージし、赤みを帯びた扉や床、さらに目地を赤くすることで、鳥居の朱色をイメージさせている。



ベンチ

児童・生徒たちのコミュニケーションスペースとなるよう、トイレ内にもベンチを設けている。荷物置き場としても利用が可能。



1F保健室
トイレ・シャワー



保健室には、ウォシュレットを設置した個室完結型のトイレとシャワーブースを設置している。



1F多目的トイレ



1Fには、オストメイトや乳幼児連れなどさまざまな利用者に配慮した、来客用の多目的トイレを設置している。



トイレサイン

「角鹿」の語源となった、神話に現れる「ツスガアラシ」の兜をモチーフにしたオリジナルのビクトグラム。各トイレのコンセプトにあわせて背景を変えている。



1F職員用トイレ



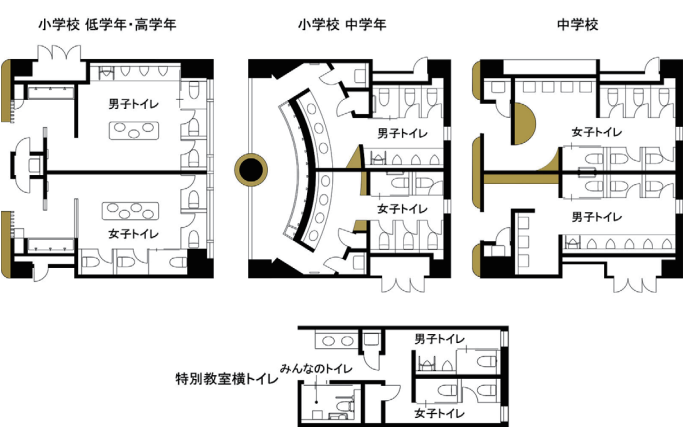
職員用のトイレは、男性女性ともに優しい色合いで、一息つける落ち着いた空間となっている。



手洗いコーナー



職員室や児童・生徒たちの行き来の多い場所に、手洗いコーナーを設置。いつでもすぐに手洗いすることができる環境を整えている。



トイレ図面

それぞれに変化を持たせ、使いやすくレイアウトされたトイレ内には、児童・生徒のコミュニケーションの場や、荷物の一時置き場としてベンチも設置されている。

水まわりの特長

建物の特徴

福井県敦賀市立「角鹿小中学校」は、敦賀小学校・赤崎小学校・咸新小学校と角鹿中学校を統合した、公立としては福井県初となる小中一貫校。設計と行政だけでなく、地域住民や教職員、児童・生徒や保護者などを交えたワークショップを重ね、この地区の学校がどのようにあるべきか、小中一貫校の利点を生かした計画とはどのようなものかを検討。「ソフト(教育)」と「ハード(建築)」の両面から計画が練られた。敦賀の港から始まる広大な海の水平線をイメージする外観の中に、機能的な学習環境を実現。木のぬくもりや光に包まれた開放的な構造を持った、敦賀市ならではの「施設一体型の小中一貫校」が開校した。

水まわりの特長

計画段階より、敦賀小学校・赤崎小学校・咸新小学校の6年生に集まってもらい、トイレについて考えるワークショップを実施。そこから出たキーワードをもとに、トイレが設計されている。また、オリジナルのビクトグラムや内装デザインは、相山女学園大学生活環境デザイン学科の学生が考案。それぞれにテーマ性を持たせ敦賀市らしさを表現している。壁のタイルや左官仕上げには、児童・生徒や先生たちが手作りで作成に協力しているものもあり、温かく愛着のもてるトイレ空間となっている。また、職員室や総合学習の場であるメディアセンター、体育館の出入り付近といった、往来の多い場所では、いつでも手洗いができるよう適宜手洗い場を設けている。

建築概要

名称	敦賀市立角鹿小中学校
所在地	福井県敦賀市角鹿町6-1
施主	敦賀市
設計	東畑・エイコー設計共同体
施工	建築 永和住宅株式会社 設備 前田設備工業株式会社
竣工年月	2021年3月
敷地面積	18,659.04㎡
建築面積	3,061.87㎡
延床面積	7,821.74㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*系	
ウォームレット:TCF226	
棚付二連紙巻器:YH701	
自動洗浄小便器:UFS900R	
洗面器:L530、L710C	
壁掛洗面器:L270C	
立水栓:TLC11AR、TLG04101J、TL155AFR	
コンパクト多機能トイレパック:UADA*11LD2ADN1W	
ペーパーシート:YKA24S	
ペーパーチェア:YKA15S	
フィッティングボード:YKA41R	
シャワールーム:JSV0812UT	